

MDC-70/MDC-70T

Multi Device Controller

VTR 簡易編集機能

取扱説明書

【改定履歴】

	発行日	バージョン	内容
1	2016年7月	S0100_01_57	初版
2	2017年4月	S0100_01_57	誤記訂正 ※IN ボタン・OUT ボタンの長押しで設定値の削除の記載を追加しました。
3	2018年3月	S0100_01_6C	・DiskRecoder 記載を追記 ・同期再生の自動調整機能を追加
4	2018年5月	S0100_01_6F	・Recoder 指定 MENU 追加 ・Audio ch 指定を 8ch に変更
5	2019年10月	S0100_01_79A	・XDS ASM 編集機能に対応
6	2019年12月	S0100_7C_xx	・編集の TC と映像にオフセット調整パラメータを追加 MENU 29910-29913
7	2020年4月	S0100_7C_05	・REC ボタンによる AutoEdit 機能 ・スロー再生編集機能を追加

【目次】

1. はじめに	3
2. 簡易編集機能詳細	3
3. 簡易編集時の注意	6
4. 編集操作	7
5. 編集 TC について	9
6. 編集システム設定	10
7. XDS 編集オプション使用例	12
8. ポート選択 固定機能	13
9. REC ボタンによる AutoEdit 操作	13
10. スロー再生編集機能	14
11. お問い合わせ	15

1. はじめに

“MDC-70”“MDC-70T”をご使用頂き、誠にありがとうございます。
本製品の簡易編集機能について記載致します。

2. 簡易編集機能詳細

編集モードを使用すると2台のVTRを使用して編集を行うことが可能です。

※編集機能使用時は必ずREFを入力して下さい。

簡易編集は、SimpleEdit 画面で行います。



【ファンクション表示エリア(機能概要)】

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	Preview	AutoEdit	Review			DispChg
P.1 +Shift		AutoEdit				Monitor
P.2	Asm	Video	DA1	DA2	DA3	DA4
P.2 Shift						
P.3	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.3 +Shift						
P.4	TC	CTL	CTL-Reset			
P.4 +Shift	TC	CTL				

- 【Preview】 編集のプレビュー動作を行います。
- 【AutoEdit】 SFT+F1 で編集を開始します。
- 【Review】 編集結果を確認します。
- 【Asm/Video/DA1/DA2/DA3/DA4】 編集モードに応じて選択します。
Asm :アッセンブルモードで動作します。
Video/DA1/DA2/DA3/DA4
- 【Preroll-*/Postroll-*】
Preroll-1 (3 秒) / Preroll-2 (5 秒) / Preroll-3 (7 秒)
Postroll-1 (3 秒) / Postroll-2 (5 秒) / Postroll-3(7 秒)
※Preroll 時間はメニューで設定可能です。(編集を行う時は3秒以上確保して下さい)
- 【TC/CTL】 編集タイムコードを選択します。
- 【CTL-Reset】 編集タイムコードが CTL の時、リセットします。

■ステータス表示エリアの説明



- ① 簡易画像表示
※IN1～IN4 にアナログビデオ信号を入力すると表示されます。
- ② VTR ステータス表示部
- ③ VTR TC 表示部
- ④ タイムコード表示部
※VTRの状態により色が変わります。
STOP(青) PLAY(緑) REC(赤) SHUTTLE/VAR(水色)
- ⑤ 編集モードの選択
Asm : アッセンブル選択時“黄”になります。
V/DA1/DA2/DA3/DA4 : インサート選択時“黄”になります。
- ⑥ プリロール・ポルトロール時間の表示
Pr : Preroll 時間を表示します。
Ps : Postroll 時間を表示します。
- ⑦ VTR の状態表示
Sv : VTRがサーボロック状態の時、“黄”になります。
EE : VTRがEE状態の時“黄”になります。
R-Inhi :テープが書き込み禁止状態の時、“赤”になります。(優先)
本装置で書き込み禁止状態の時“青”になります。
Rmt :VTR がリモート制御可能な時“黄”になります。
- ⑧ ポート選択表示
ポート選択ボタンに連動して動作します。動作可能なポートが“黄”表示します。
- ⑨ IN 点タイムコード表示
- ⑩ OUT 点タイムコード表示
- ⑪ デュレーション表示

3. 簡易編集時の注意

1)アッセンブル編集の注意

- ・VTR を使用して TC でアッセンブル編集を行う場合は VTR の TCG 設定を INT / REC RUN / REGEN にして下さい。
- ・XDS を使用して TC でアッセンブル編集を行う場合は XDS の TCG 設定を INT / TC / REC RUN にして下さい。

2)D-Stream でアッセンブル編集を行う時は LTC で行い OUT 点の指定は行わないで下さい。

3)D-Stream で REC を行う時は REC の停止は D-Stream 側で行って下さい。

【誤操作防止と RECORDER の複数ポート選択】

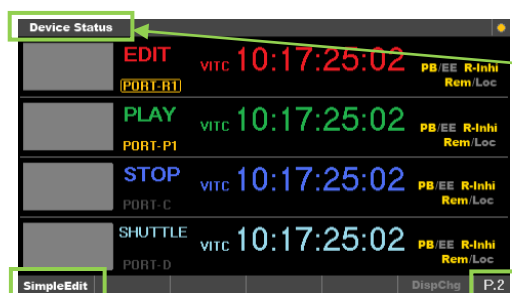
S0100-01-6F より RECORDER の指定を MENU で行える様になりました。

項目番号	項目名	内容
29901	AE-EditChSel	編集時の収録ポート指定 1) MasterPort : 点滅しているポートが RECORDER です。 2) 1. . . ~ 16) : REC ポートの指定が可能です。 数字が立っている所が REC ポートとして指定可能です。

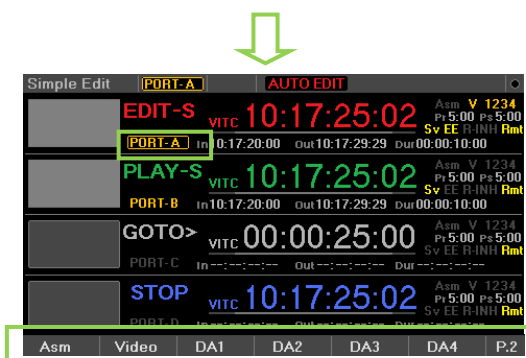
※操作上の変更はありません。

4. 編集操作

VTR2台での編集操作手順例を記載します。



Device Status 画面のファンクション表示エリアでP2を選択して SimpleEdit モードを選択します。



Recorder ポートを選択し、SimpleEdit 画面のファンクション表示エリア P2 で、編集モードを選択します。



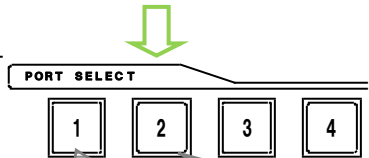
同様にファンクション表示エリア P3 で Preroll/Postroll の設定を行います。
※設定は Recorder ポート・Player ポート同じ設定にして下さい。



Port Select キー 1 で RECORDER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。
※IN ボタン・OUT ボタンの長押しで設定値の削除が可能です。



Port Select キー 2 で PLAYER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
 ※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。
 ※IN ボタン・OUT ボタンの長押しで設定値の削除が可能です



1)点滅は Recoder を意味します。

2)SFT を押しながから選択します。

Port1 を選択し、次に SFT+Port2 を選択し、Recoder と Player 2 個を点灯させます。



Preview を選択し編集のリハーサルを行います。
 ※同期制御は自動で行います。
 が、VTR の状態によりリトライ動作する事があります。



SFT を押しながから選択します。

AutoEdit を選択し編集を行います。

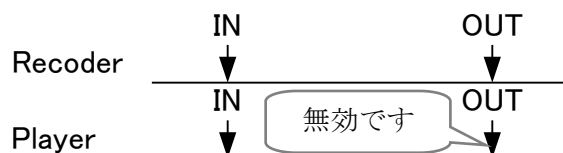


Review を選択し編集の確認を行います。

5. 編集 TC について

簡易編集では、収録側TCと再生側TCは下記の動作となります。

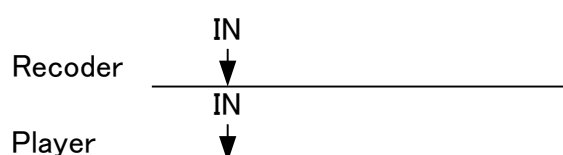
- 1) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点と同じ時



【動作詳細】

Recoder の IN/OUT 点を基準に動作します。

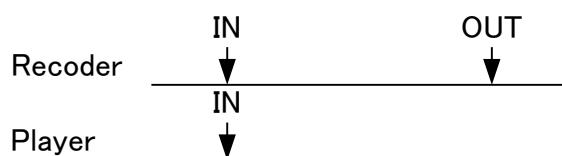
- 2) 収録側IN点と再生側 IN 点 が設定されている時



【動作詳細】

オープンエンドで記録します。

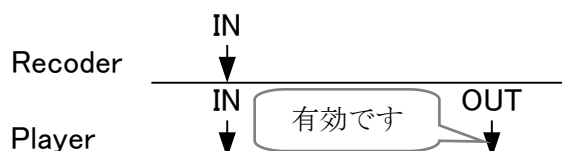
- 3) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN 点 が設定されている時



【動作詳細】

Recoder 側の OUT 点を基準にして編集が行われます。

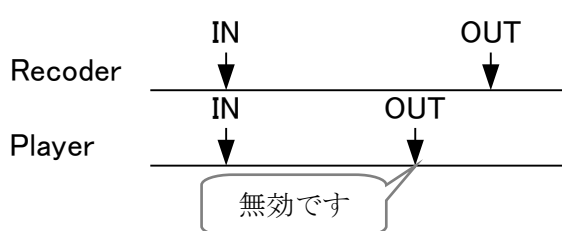
- 4) 収録側IN点と再生側 IN/OUT 点 が設定されている時



【動作詳細】

Player 側 OUT 点を使用して編集が行われます。

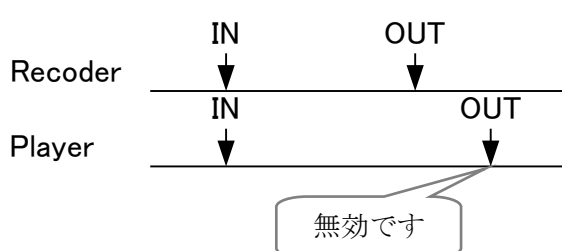
- 5) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点 が設定されている時(収録側が長い)



【動作詳細】

Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

- 6) 収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点 が設定されている時(再生側が長い)



【動作詳細】

Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

6. 編集システム設定

簡易編集を行うには、対象機器毎にパラメータの変更が必要です。

1) 編集パラメータの設定方法

調整パラメータは MENU の SIO 内で設定を行います。

【LTC 編集時のパラメータ】

項目番号	項目名	内容
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ 5 frame (通常左値固定)
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 4 frame (通常左値固定)

【CTL 編集時のパラメータ】

項目番号	項目名	内容
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ 0 frame (通常左値固定)
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 0 frame (通常左値固定)

【参考パラメータ】

■XDS-PD2000 のパラメータ値

項目番号	項目名	内容	設定値
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ	5 frame
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	4 frame
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ	0 frame
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	0 frame

■D-stream パラメータ値

項目番号	項目名	内容	設定値
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ	5 frame
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	4 frame

■HDW-M2000 のパラメータ値

項目番号	項目名	内容	設定値
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ	6 frame
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	5 frame
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ	0 frame
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ	0 frame

2) 編集映像の調整 (S0100-7C-xx より対応)

制御 TC と映像に Offset 調整が可能ですシステムで TC と映像にズレがある時に調整して下さい。

項目番号	項目名	内容
29910	AE-InPoint Pt1	VTR 簡易編集画面時で SIO1 の制御 TC と映像にオフセットを指定します。Default > 0
29911	AE-InPoint Pt2	VTR 簡易編集画面時で SIO2 の制御 TC と映像にオフセットを指定します。Default > 0
29912	AE-InPoint Pt3	VTR 簡易編集画面時で SIO3 の制御 TC と映像にオフセットを指定します。Default > 0
29913	AE-InPoint Pt4	VTR 簡易編集画面時で SIO4 の制御 TC と映像にオフセットを指定します。Default > 0

3) DF/NDF の設定方法

DF/NDF の設定は MENU の SIO 内で設定を行います。

項目番号	項目名	内容
30203	FrameFormat	フレームフォーマット指定 NTSC-DF NTSC-NDF PAL

デフォルトでは DF の設定になっています。システムに合わせてご使用下さい。

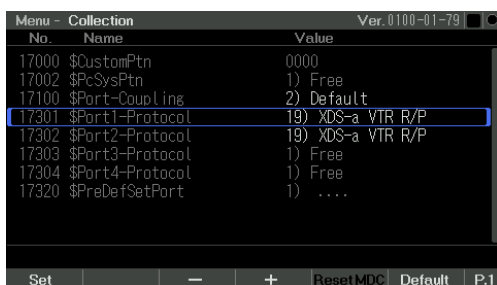
※ポート毎に設定が可能です。が混在した編集は行えません。

7. XDS 編集オプション使用例

XDS で編集を行う時の設定及び動作を記載します。

【MDC-70 の Collection 設定】

SIO1 と SIO2 を使用した時の設定例です。



【XDS の設定】

アッセンブル編集を行う時の XDS の TCG の設定例

MENU	設定
EXT/INT設定	INT
PRESET/REGEN設定	TC
FREE RUN/REC RUN設定	REC RUN

【MDC-70 の簡易編集機能を使用した時に下記の編集動作が可能でした】

XDS の設定 (VTR Mode)			動作
PD	インサート編集	LTC	OK
		CTL	OK
	アッセンブル編集	LTC	NG
		CTL	NG
INTERNAL	インサート編集	LTC	OK
		CTL	OK
	アッセンブル編集	LTC	OK
		CTL	OK

【使用上の注意】

- ※1. XDS では VTR と異なりクリップがあります。編集 OUT 点は Clip の OUT 点を超えない様に指定して下さい。またアッセンブル編集で繋ぎ撮りを行う時は IN 点のみを指定して下さい。
- ※2. XDS で ASM 編集を行う時はプリロール(PreRoll)を5秒、ポストロール(PostRoll)を1秒でご使用下さい。PostRoll時間の設定は MENU 27911~27916 で変更可能です。

8. ポート選択 固定機能

MENU 設定で編集時のPlayer と Recoder を指定しておく事により、編集を行う時に自動で Port 選択を行う事が可能です。

VerS0100-7C-03 より対応

項目番号	項目名	内容
29901	AE-EditPort	Edit チャンネル(Recoder)の選択です 1) MasterPort (Def) 2) 1... ~ 16) 1234 ※Port 毎に複数chの設定が可能です
29920	AE-PlayPort	Play チャンネル(Player)の選択です 1) CurSelPort (Def) 2) ... ~ 16) 1234 ※Port 毎に複数chの設定が可能です
29921	AE-MasterPort	Master チャンネル(Recoder)の選択です 1) CurSelPort (Def) 2) ... ~ 16) 1234 ※Port 毎に複数chの設定が可能です

9. REC ボタンによる AutoEdit 操作

MENU 設定で AutoEdit 開始の操作を REC ボタンにする事が可能です。

VerS0100-7C-03 より対応

項目番号	項目名	内容
29922	AE-EditSw	AutoEdit を開始する SW の指定 1) Default : SFT+F2 で AutoEdit を開始します。 2) REC-sw : REC ボタンで AutoEdit を開始します。
30E42	V:EditOutCmd	Edit を終了する時の動作指定 1) EDIT-OFF 2) PLAY ※Edit 終了時にエラーが出る時は本 MENU を切替えて下さい

10. スロー再生編集機能

編集時にPlayer をスロー再生に切り替える事が可能です。

VerS0100-7C-03 より対応

【AutoEdit】

編集開始の操作によりスロー再生で編集を行う事が可能です。

AutoEdit : PLAYでの編集

VAR SW 点灯 + AutoEdit : スロー再生編集

項目番号	項目名	内容
29923	AE-VarSwContMod	VAR SW を押した時に T-Bar のスピードで再生する設定 1) Default :再生します 2) NoSend :何もしない
29924	AE-SlowEditEna	スロー編集の指定 1) Disable 2) VAR-sw : スロー再生での編集が可能です

【自動スロー再生編集】

スロー再生編集は Edit IN 点より任意のスピードで再生を行う事が可能です。

項目番号	項目名	内容
29925	AE-SlowEditOprMod	スロー再生の開始タイミング 1) IN-Start : IN 点からスロー再生 2) Opr-Start : T-Bar を操作した所からスロー再生
30E49	V:EditEventCmdTmg	自動スロー編集 (IN-Start) 時に EDIT-IN で VAR 送信開始するタイミングの設定 0-99Frame (Default 0)

11. お問い合わせ

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>
